

## 再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課:道路局 環境安全・防災課  
担当課長名:水野 宏治

<b>事業名</b>	スマートICアクセス 一般県道蓮田白岡久喜線 蓮田スマートICアクセス・1次アクセス	<b>事業区分</b>	地方道	<b>事業主体</b>	埼玉県	
<b>起終点</b>	自:埼玉県蓮田市黒浜地内 至:埼玉県蓮田市黒浜地内			延長	0.8km	
<b>事業概要</b>						
蓮田白岡久喜線は、蓮田市から白岡市を通り久喜市に至る幹線道路である。この路線に接続する東北自動車道の蓮田スマートICは、小型車(車長6m以下)限定で東京方面のみ出入可能なハーフICとして、平成24年2月から供用されている。同ICは令和元年9月に、利用車種を全車種(車長12m以下)に拡大するとともに、宇都宮方面の出入も可能とするフルインター化に向けた連結許可を国土交通省から受けた。スマートICのフルインター化に伴い、大型車を含めた交通量の増加に対応するため、アクセス道路となる当該県道の現道拡幅と線形改良を実施する。						
R3年度事業化		-		R4年度用地着手		
R4年度工事着手						
<b>全体事業費</b>		約7億円		<b>事業進捗率</b>		
				約21%		
<b>計画交通量</b>		8,800台/日				
<b>費用対効果分析</b>	<b>B/C</b>	<b>EIRR</b>	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体)		<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体)	
	(事業全体)	(事業全体)	6.2/ 9.4億円		70/70億円	
	7.4	23.6%	事業費: 5.1/ 8.3億円		走行時間短縮便益: 67/ 67億円	
	(参考) 10.6 [2%]		維持管理費: 1.1/ 1.1億円		走行経費減少便益: 1.8/ 1.8億円	
	13.1 [1%]		更新費: -/ -億円		交通事故減少便益: 0.75/ 0.75億円	
<b>効果分析</b>	(残事業)	(残事業)	<b>感度分析</b> (事業全体)		(残事業)	
11.2			交通量	B/C=6.7~8.2(±10%)	交通量	B/C=10.2~12.5(±10%)
(参考) 15.3 [2%]	41.2%		事業費	B/C=7.0~7.8(±10%)	事業費	B/C=10.3~12.2(±10%)
18.3 [1%]			事業期間	B/C=7.0~7.7(±20%)	事業期間	B/C=10.8~11.6(±20%)
<b>事業の効果等</b>						
① 防災機能の向上 SICが整備されることにより、災害時の避難・救助、物資供給等のための緊急車両の通行が確保される。						
② 物流の効率化 周辺工業団地から東北道を利用する物流の効率化が期待される。						
③ 観光拠点へのアクセス向上による地域の活性化 年間100万人以上が訪れる東武動物公園などの近隣観光拠点にアクセスし易くなり、地域の活性化に寄与する。						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>						
令和4年度に蓮田SIC(上り線)の供用が開始されたことから、下り線の早期の供用開始が期待されている。 蓮田SICのフルインター化により、本路線の交通需要の増加が見込まれるため、地元から強く早期整備を求められている。						
<b>事業評価監視委員会の意見</b>						
事業継続を妥当と認める。						

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

圏央道の4車線化により、宇都宮方面へ向かう高速道路の利用者が増加している。

東北自動車道を跨ぐ白岡市道の整備も進み、白岡駅周辺市街地からのアクセス性が高まることから、交通需要の増加が考えられる。

令和4年度に蓮田SIC(上り線)の供用が開始されたことから、下り線の早期の供用開始が期待されている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

用地進捗率約35%、事業進捗率約21%

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

1次アクセス道路の工事を進め、早期の完成を目指す。

施設の構造や工法の変更等

片側歩道整備により歩道の連続性を確保するとともに、線形改良にあたっては現況道路幅員を有効活用してコスト縮減に取り組んでいる。

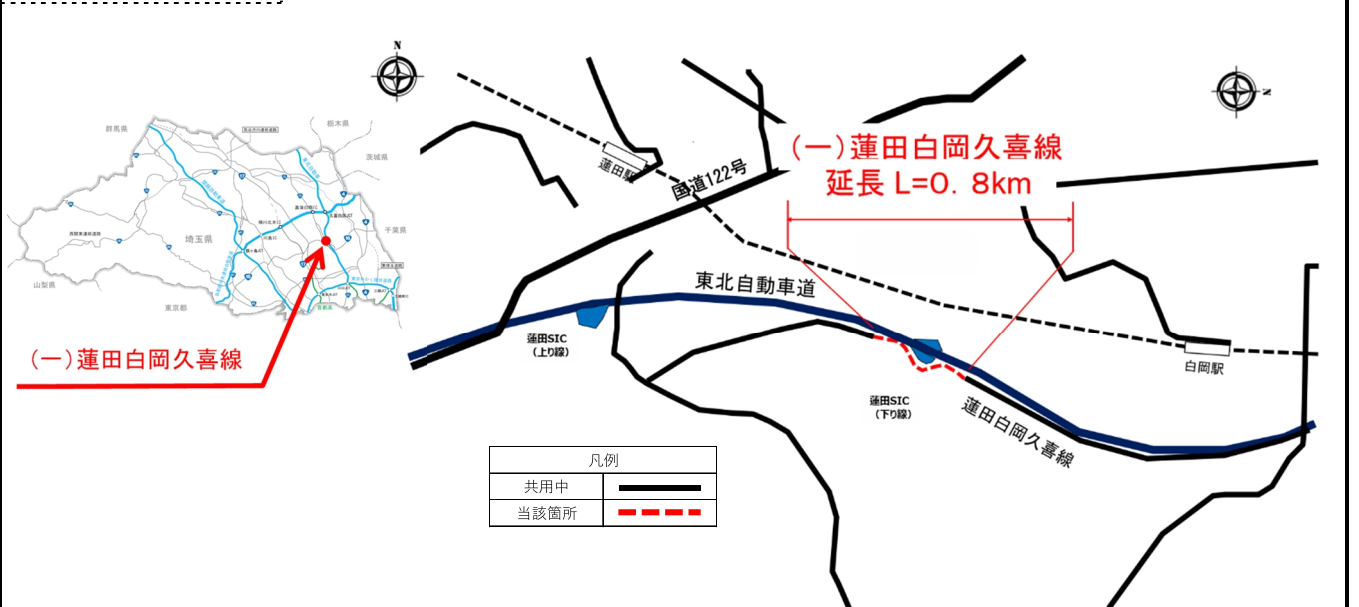
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

蓮田SICフルインター化にあわせて本路線を整備することで、歩車分離による安心安全な通行空間の確保や防災機能の向上、といった高い投資効果が見込まれることから、早期完成に向けて引き続き整備を推進する必要があるため。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)